

声楽公開レッスン
Voice Masterclass
アーミン・ザナー
Armin ZANNER



PROGRAM

通訳：小森輝彦先生

<公開レッスン Masterclass>

- デン・イクヒ Yufei Tian (修士1年)
 - F.Cilea / オペラ *L'arlesiana* より "Il lamento di Federico (È la solita storia del pastore)"
ピアノ：渡辺知子先生
- 白石若菜 Wakana Shiraishi (修士1年)
 - V.Bellini/オペラ *I Capletti e i Montecchi* より "Eccomi in lieta vesta...Oh! quante volte"
ピアノ：石川美結先生
- 町田健児 Kenji Machida (修士1年)
 - G.Verdi/オペラ *Rigoletto* より Act II:
"Cortigiani, vil razza dannata"
ピアノ：尾崎風磨先生
- 中村里咲 Risa Nakamura (修士2年)
 - D.Moore/オペラ *The Ballad of Baby Doe* より "Gold Is a Fine Thing" (Silver Aria)
ピアノ：尾崎風磨先生

2024. 11/27 (水)
17:45～

東京音楽大学
中目黒・代官山キャンパス
C401

ギルドホール音楽院副学長兼音楽学部長。

イギリス・グラスゴー出身。ヴァイオリン奏者として音楽活動を開始する。ケンブリッジ大学セルウィン・カレッジ在学中にオーケストラを率い、B・バルトークについての修士論文を執筆。その後声楽に焦点を移し、ギルドホール音楽院にて声楽を専攻。現在はバリトン歌手として、英国、欧州、米国でリサイタル、コンサート、オペラを行う。

現職就任以前は、声楽主任を9年間、また2021～23年に音楽学部長代行を務めた。音楽学部では「アット・シックス」コンサートシリーズを創設し、国際会議や音楽祭のために新曲を委嘱するなど、学生の発表機会を拡大。カリキュラムに多様な演奏プロジェクトを組み込む、音楽家の健康の観点から声楽家を養成する、招聘演奏家の国際的ネットワークを強化する、声楽プログラムに協働を取り入れる等の取り組みが学部を超えたイニシアチブとなり、バービカン・センター、ウィグモア・ホール、ロイヤル・オペラ・ハウス等との協働活動に繋がった。

ギルドホール音楽院での業務に加えて、N・W・ライヴ・アーツ（移民、気候、メンタルヘルス等の社会課題をクラシック音楽や世界の伝統を通して探究し、コミュニティのために演奏活動を行うロンドンの慈善団体）の理事や、オーストリアのフランツ・シューベルト・インスティテュートの芸術監督・芸術委員を務めている。国内外のサマープログラム、公開レッスン、ワークショップでも指導している。

ドナテッラ・フリック指揮者コンクール、ロイヤル・フィルハーモニック協会賞、韓国声楽コンクール、グラインドボーンの審査員。著作はブルームズベリー社から出版され、英国・米国の数々の雑誌にも掲載。イノベティブ・コンセルバトワール（音楽学校教員のための国際専門家養成計画）のクリエイティブ・ディレクター、英国高等教育アカデミーの上級研究員。2022年よりギルドホール音楽院特別研究員。

入場無料 ・ お申し込み不要

お問い合わせ先：国際交流センター
study_abroad@tokyo-ondai.ac.jp